

令和7年度全建賞 推 薦 調 書
インフラ整備の事業又は施策の部(インフラの部)

実施機関名(主事業の実施機関名)	北海道釧路町
ふ り が な	くしろちょうせちりぶとちくとしぼうさいそうごうすいしんじぎょう
1. 事業(施策)の名称	釧路町セチリ太地区都市防災総合推進事業
2. 事業(施策)実施期間(和暦)	令和5年4月1日 ～ 令和8年3月31日
3. 事業費(工事費)	2828百万円
4. キーワード	積雪寒冷地域に配慮した津波避難タワー
5. 事業概要	日本海溝・千島海溝周辺海溝型の巨大地震に伴い発生する津波から円滑な住民の避難を実現するための避難対策として、冬期の避難にも対応できる津波避難タワーを4基整備したものである。

6. アピールする事業又は施策の「手段」と「秀でた成果」		
ハード or ソフトの分類 :該当する方に○印	① ハード面 に秀でた事業	② ソフト面 に秀でた取組
アピールする 1)「手段」	(d)積雪寒冷地における冬期間にも 対応できる避難タワー整備 () ()	() () () ()
アピールする 2)「秀でた成果」	(a)停電を想定した防寒対応 (g)バリアフリーを意識したスロープ (h)停電を想定した太陽光 ()	() () () ()

7. 特にアピールしたい点
地震時において電気が使用できない事を想定した避難タワー整備

8. 事業を代表する写真及びキャプション



津波避難タワー(いづみ公園)



津波避難タワー(春日公園)



津波避難タワー(中園公園)

9. 事業内容・添付資料〔特徴を示す写真、諸元(位置図、標準断面図、施策のフローチャート、P Iの方法 等)〕



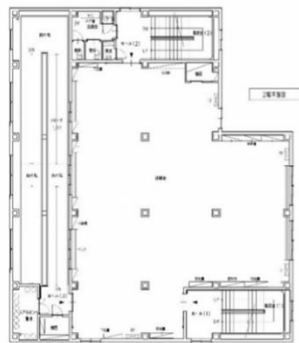
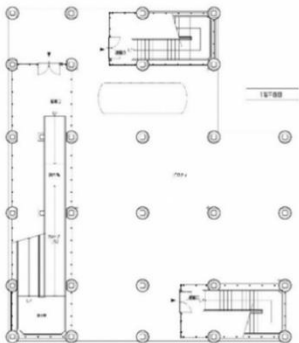
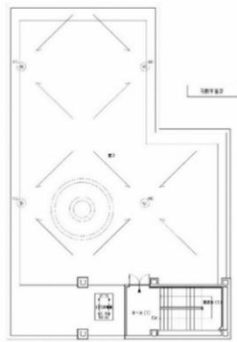
当町では、平成5年発生の釧路沖地震、平成6年発生の北海道東方沖地震、平成15年発生の十勝沖地震の3度にわたる大規模地震により、人的被害、道路や上下水道等の公共施設への被害が大きく、住民生活に多大な支障をきたした。

また、平成17年9月に施行された「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法」に基づき、平成18年2月に「地震防災対策推進地域」、令和4年9月には「地震津波避難対策特別強化地域」に指定され、令和3年7月に北海道から発表された太平洋沿岸の津波浸水想定によると、最大津波高 26.5m、津波高が 20 cm の影響開始時間は 2～22 分、浸水想定区域は町全域 25,415ha のうち浸水面積は 2,866ha で約 11.28%と想定されている。

さらに、令和4年7月には、日本海溝・千島海溝周辺海溝沿いの巨大地震の被害想定が公表され、当町においては、死者数最大 5,700 人、低体温症対処者数 4,300 人の想定がされている。低体温症のリスクに備えるため、避難場所の冬期対策が必要となった。

このような現状から、釧路町防災計画及び津波対策緊急事業計画において、ソフト面を含めた災害への対応能力の向上や被害拡大の防止や避難・救済・消火活動に対応する都市基盤整備を目的に、津波避難タワーの整備を行った。

9. 事業内容・添付資料〔特徴を示す写真、諸元(位置図、標準断面図、施策のフローチャート、P Iの方法 等)〕



着工: 竣工: R6年度
供用開始: R7. 04. (見込み)

避難室 589.0m²/531人=1.11m²
避難必要面積 531.0m² (531人×1m²)
最大想定浸水深3.0m<4.0m床高

いづみ公園



壁面パネル



電気室

電気室内には、蓄電池システムが設置されている。

太陽光エネルギーを有効活用するため壁面パネルを採用し、平時は太陽光発電と蓄電池を優先して使用する。

また、蓄電池の電力が枯渇した場合は商用電力に切り替えることができる。

バリアフリーを意識したスロープ。

住民の積雪寒冷下における避難速度の低下や歩行困難者等を考慮し設計されている。



スロープ

9. 事業内容・添付資料〔特徴を示す写真、諸元(位置図、標準断面図、施策のフローチャート、P Iの方法 等)〕



LPG ボンベ

災害時にすぐ使用でき、かつ長期保管ができる LPG ボンベを保管し暖房設備に利用している。

また、非常用発電機の燃料として、72 時間以上の稼働時間を想定した容量を備えている。

発災時に商用電力が遮断された場合でも、LPG 発電機に切替えることで停電の心配がない。



避難室



多目的室



収納

想定避難人数は、
いづみ公園タワー531 人
春日公園タワー327 人
中園公園タワー425 人
緑公園タワーは 294 人である。

様々な状況に対応するためベンチや多目的室が整備されているほか、災害時に備えた食品や毛布、パーテーション及び除雪道具が収納されている。



トイレ

上下水道に頼ることのない循環式汚水再利用処理装置を整備した。

トイレ排水は、微生物による分解により浄化処理され、処理水は臭いも濁りもなく、トイレ洗浄水として再利用される。

浄化過程では、釧路町仙鳳趾産のカキ殻をフィルター材として使用している。